

た か は ぎ

2017.2
No.143

議会だより



平成28年第4回定例会

会期 12月2日～12月14日

議案に対する質疑…………… 3

委員会審査報告…………… 4

市政に対する一般質問…………… 5

萩っ子議会

平成 28 年第 4 回定例会に提出された議案等

事件番号	件名	内容	審議結果
報告第16号	専決処分の報告について(損害賠償の額の決定及び和解について)	損害賠償及び和解のうち、50万円以下の専決事項について報告するもの。	—
議案第51号	高萩市安全・安心な飲料水の保全条例の制定について	安全で良質な飲料水を安定的に確保するため、その水源の自然環境を将来にわたって保全するもの。	原案可決
議案第52号	高萩市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	人事院勧告に伴い、本年度の給与水準の改定と給与制度の一部見直しを行うもの。	原案可決
議案第53号	高萩市議会議員及び高萩市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正について	公職選挙法施行令の一部改正に伴うもの。(選挙運動用物品経費の限度額の引き上げ)	原案可決
議案第54号	高萩市手数料条例の一部改正について	国外犯罪被害弔慰金等の支給に関する法律に基づき戸籍事項の無料証明を行うもの。	原案可決
議案第55号	高萩市営住宅管理条例の一部改正について	入居手続における連帯保証人の特例を設けるもの。	原案可決
議案第56号	平成 28 年度高萩市一般会計補正予算(第3号)	歳入歳出それぞれに3億5千80万1千円を追加するもの。内容は多子世帯保育料軽減事業、小・中学校トイレ改修事業等。	原案可決
議案第57号	平成 28 年度高萩市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	歳入歳出それぞれに1千660万3千円を追加するもの。	原案可決
議案第58号	平成 28 年度高萩市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	保険事業勘定の歳入歳出それぞれに40万8千円を追加するもの。	原案可決
議案第59号	平成 28 年度高萩市水道事業会計補正予算(第2号)	収益的収入支出において、水道事業費を27万7千円増額するもの。	原案可決
議案第60号	平成 28 年度高萩市工業用水道事業会計補正予算(第2号)	収益的収入支出において、水道事業費を10万8千円増額するもの。	原案可決
議案第61号	訴えの提起について(請負代金請求事件の控訴について)	市が被告として訴えられた請負代金請求事件の判決に対し、不服として控訴を提起するもの。	原案可決
	議員の派遣について	茨城県市議会議長会が主催する議員研修会へ参加するもの。	原案可決
意見書案第2号	地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書の提出について	地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書を政府に提出するもの。	原案決議
意見書案第3号	後期高齢者の保険料軽減特例の継続を求める意見書の提出について	後期高齢者の保険料軽減特例の継続を求める意見書を政府に提出するもの。	原案決議
意見書案第4号	奨学金制度の改善と教育費負担の軽減に関する意見書の提出について	奨学金制度の改善と教育費負担の軽減に関する意見書を政府に提出するもの。	原案決議

議案質疑

議案第51号 高萩市安全・安心な飲料水の保全条例の制定について

大森 要二 議員

質問 安全で良質な飲料水は、高萩が自慢できる代表の一つであります。事業の実施を抑制すべき地域等を定めています。花貫川取水口、大北川取水口の上流域の範囲の面積、そして市全体に占める割合を示してほしい。

企画部長 平成24年に茨城県が水源地域保全条例を制定し、水源地域の土地の所有権等の移転に対し、事前届け出制度等を設けています。本条例では、安全で良質な飲料水を安定的に市民が安心して飲めるようにするため、事業者に対し水源への影響並びにその防止策について関係住民等及び市に説明を求め、市が水質や水量等に影響を及ぼす恐れがないとして同意した事業について、市が施工状況等を各段階において確認できるようにするものです。

該当する面積は合計約132平方キロメートル。市内の約3分の2が条例の対象地域となります。

議案第55号 高萩市営住宅管理条例の一部改正について

平 正三 議員

質問 市長は特別の事情があると認めるものに対して、誓約書に連帯保証人の連署を必要としないことができると規定しているが、特別の事情とは何か。

産業建設部長 特別な事情とは、一つは入居予定者及び同居者が65歳以上で、二親等以内の親族がないとき、又は二親等以内の親族が住民税非課税かつ65歳以上のとき。二つは入居予定者及び同居者が65歳以上で入居予定者、同居者のいずれかが、障害者、戦傷病者又は原子爆弾被爆者である時。三つは入居予定者が被保護者であるとき。四つは入居予定者又は同居者がDV被害者であるとき。五つは入居予定者が、外国からの引揚者で、帰国してから一年を経過していないもの。六つは市長が特別な事情があると認めるもの。なお、これから要綱を定めて運用を図っていききたい。

議案第56号 平成28年度高萩市一般会計補正予算(第3号)

菊地 正芳 議員

質問 多子世帯保育料軽減事業補助金について伺う。

この事業は、国の法律のもとに少子化に歯止めをかけようということから始まった事業であり、この事業を行うことによって、子供さんを3人以上持ちたいという希望を実現するきっかけづくりをしようということが始まった事業であると伺っております。既に始まっている事業の拡充ということで6階層から9階層まで上げて対象者を増やしていくという内容であります。



対象者人数、既に保育料を納めた方がいると思いがその方への対応、今後の規則の整理等の内容について伺う。

健康福祉部長 現在、見込んでいた補助対象者の人数は19名です。次に、補助金の給付時期につきまして、おのおの納めて頂いている額が確定次第、遅くとも年度末にと考えております。最後に来年度以降、規則の改正をして無償の範囲を見直して参ります。

請願・陳情の審議結果

件名	結果
「青少年健全育成基本法の制定」を求める意見書提出に関する請願	不採択
「後期高齢者の保険料軽減特例の継続を求める意見書」の提出を求める請願書	採択
所得税法第56条廃止を求める意見書採択に関する請願	不採択
奨学金制度の改善と教育費負担の軽減に関する意見書の採択を求める請願	採択
高萩市内の買い物困窮者対策を求める陳情書	継続審査

総務産業委員会

12月12日、当委員会に付託された議案7件の審査を行った。

○高萩市安全・安心な飲料水の保全条例の制定について

問 この条例において、千代田地区の共同水道組合は該当するのかわらう。

答 本条例は、安全で良質な飲料水を安定的に確保して、市民が安心して飲めるようにするため、市の上水道の水源となる花貫川取水口、及び大北川取水口の上流地域の事業を抑制すべきとしたものです。市内では上水道以外に簡易専用水道、小規模水道等が利用されており、これらの一部の水源については、本条例の抑制地域となりますが、今後、必要と判断した場合には、規則に定める地域として追加して対応することも考えております。

問 この条例が施行した場合、どの時点までが対象になっていくのか。例えば、申請して許可が下りたものと伐採をしたというのとは大分違うと思うが、その線引きはどのように考えているのか。

答 本条例の対象となる時点については、事業の着手をしていない

ものを対象としまして、開発許可等の関係法令の手続きを行った上で、土工事や森林伐採等に着手した時点の基本として考えることにしております。



○平成28年度高萩市一般会計補正予算(第3号)

問 道路維持管理経費の修繕料、400万円の増額について、修繕件数と契約金額等や今後の予定について伺う。

答 11月末までの件数ですが、全部で26件になります。契約金額は、1,272万5,424円というところで、当初予算は、1,500万円ですので、全体の84・8%の執行率となっております。

今後については10箇所程度の舗装の路面補修を予定しています。

文教厚生委員会

12月9日、当委員会に付託された議案4件の審査を行った。

○平成28年度高萩市一般会計補正予算(第3号)

問 小学校と中学校、幼稚園の空調設備工事費の内容について伺う。

答 高萩小学校の職員室に4基、校長室に1基のエアコンを設置。高萩・秋山中学校の職員室に4基、校長室に1基のエアコンを設置。松岡幼稚園の職員室に2基、保育室の3部屋に2基ずつ、遊戯室に4基のエアコンを設置する事業です。

問 小学校と中学校のトイレ改修事業の内容について伺う。

答 主な工事内容は、便器、手洗い器具、トイレブース、照明器具等の交換、床の乾式化、壁の化粧ケミカル板張り等による改修を行い、におい汚いトイレの解消を図りたいと考えます。なお小便器、手洗い器及び照明器具は非接触のため、感染予防に効果が高く、節水・におい及び節電にも効果が高いとされている人感センサータイプを採用します。小学校は、秋山小学校の南校舎、男女6か所に係

る改修工事であり、身障者用トイレを1か所設置することとしました。中学校は高萩中学校南側校舎男女3か所、北側校舎男女4か所の改修工事となり身障者用トイレを男女1か所ずつ設置することとします。

今後の計画には、平成29年度中に東小、秋山中、松岡中の設計を行い、工事は平成30年度に松岡中、平成31年度に東小、秋山中の工事を予定しています。スケジュールは、夏休み期間を考えています。



高萩小学校
改修後のトイレ



根本 茂 議員



紅葉まつり（花貫駐車場）

秋のイベント及び消防分団について

質問 産業祭及び紅葉まつりの今年度の状況について伺います。
産業建設部長 産業祭については、天候に恵まれ盛況でした。紅葉まつりについては、天候不順の影響で、入り込み客数が2割減となりました。
質問 花貫渓谷に結婚・出産などの記念植樹をしていますがどうか。
産業建設部長 記念植樹については、植樹を行った方が幾度となく花貫渓谷を訪れることが期待され

るが、土地管理者との協議や植樹後の樹木の管理が必要であることから多くの課題が残る。しかし、適当な候補地で検討する。

質問 分団員に何らかの特典を。

消防長 近年多くの自治体で、地元商店街や食品販売店等との協力により、料金割引などの制度を実施している。今後、先進的に実施している自治体の状況を研究する。

その他の質問

○消防分団員の不足人員について
 ○出初式の高萩駅前開催について



茨城県消防ポンプ操法競技大会
 県北地区大会（大子町）



八木陽子 議員

交通弱者と買い物弱者対策について

質問 高齢者の運転による悲惨な事故が増え、買い物や通院など日々の生活に不安を感じています。

高萩市の65歳以上の高齢者人口は9,325人、高齢化率32%という状況です。第5次総合計画では、公共交通機関について、交通弱者の方々が安心して使える鉄道、バスなどの利便性向上と充実を掲げておりますが平成32年には高齢者9,715人、高齢化率35.3%になる予想です。市として具体的な考えをお聞かせください。また移動販売の状況をお聞かせください。

市長 交通弱者の公共交通対策が喫緊の課題となっているため、地域公共交通網形成計画の策定を進めているところであり、高齢者を含めたアンケート調査も行い、誰もが利用しやすい公共交通ネットワークの構築を目指したい。計画策定においては適宜、議会に説明してまいります。

産業建設部長 JA常陸・高萩営農センターが山間部を月曜から金曜までの5コースの移動販売を

行っています。不定期ではありませんが看護師による健康相談や健康チェックも行っています。また民間商店が木曜日に横川地区を訪問しています。

企画部長 地域公共交通網形成計画の策定に取り組んでおり、デマンド交通の導入も視野に入れており、今後市の課題を的確に把握し有識者、交通事業者、利用者の意見を聞き、市にふさわしい交通手段を確保していきます。





渡辺悦夫 議員

生活道路の整備促進状況について

質問 長年の懸案であります常陽銀行協の一方通行道路の用地交渉及び進捗状況について、この道路がいつ都市計画道路として指定・認定され、いつから一方通行になったのか、お伺いします。

産業建設部長 都市計画道路につきましては昭和21年に決定され、重要な道路として整備を進めるべき路線であります。一方通行の規制は、道路幅員が狭いことや交通量の増加などの理由により、昭和54年規制を開始したとのことですが、

小中学校の教育環境の充実について
質問 市内小中学校のエアコンの設置基準となります室温温度調査の結果についてお知らせください。
教育部長 7月から9月の授業のあった日の普通教室を調査した結果、30度を超えた日は、秋山小学校で1日、松岡小学校で2日、高萩小学校で7日となっております

ダムの有効活用について

質問 ダムの有効活用について、お伺いします。

産業建設部長 花貫ダム堰堤の休日等の開放につきましては、さらに継続的な協議が必要であると考えております。小山ダムにつきましては、林道部分の維持管理に努めてまいります。

要望 市内の小中学校、幼稚園に、一日も早くエアコンを設置していくこと、また、ダムの有効活用利用協議会等を立ち上げ、ダムを高萩の観光資源として活用を期待して要望とします。



常陽銀行協の一方通行道路



寺岡七郎 議員

企業誘致について

質問 企業誘致は税収、人口増加、地元雇用を期待して取組んできましたが、今なお赤浜工業団地の4万4,923平米は未売用地になっており期待した内容とは大きな違いが出ています。一日も早く誘致を実現すべきですが、今日までどのような取組みをしてきているのか経過について伺いたい。

企画部長 用水型企業を中心に一定の業種にこだわらず様々な事業者への働きかけを行っているところであります。

質問 未売水量について、赤浜工業団地は用水型企業の誘致をしなければならぬが、すでに非用水型企業を誘致してしまい現在必要水はいくらと試算しているか。

企画部長 未売水量についてはどの程度発生するのか、またその扱いについては推測でお話するのは不適當だと考えております。現在の計画水量を最大限利用できる誘致活動に努めてまいります。

質問 企業団には27年度までに補助金、出資金、貸付金、合計で13億6,599万1千円を投入しているが、そのうち約1億3千万

円の貸付金を、協議により無利子にするのは可能なのか。地方公営企業法18条の2では利息を義務付けているが、条例や規則は、法律に反することを決めても上位法優先ではないか。

産業建設部長 地方公営企業である工業用水事業は、本来受益者負担の原則に基づき独立採算により経営されるものですが、厳しい経営を強いられている現状から利息免除の申し出を受け決定したものでございます。



赤浜工業団地TK-2区画



坪和久男 議員

雇用対策について

質問 第5次高萩市総合計画によると、高萩市の労働人口は平成32年には、平成22年時点より、2千6百人減少し、約19%に相当する企業が本市内から撤退するか、または規模の縮小を行う可能性があるとのこと。新たな雇用創出も重要ですが、現在ある企業に対して、雇用対策を早急に講ずる必要があると考えます。そこで市長に労働人口減少に対する考え方について伺いいたします。

市長 労働人口減少に歯止めをかけることは喫緊の課題であると認識をいたしております。また、市内立地企業の現状や御意見等を行うため、私自ら、又は担当部長が企業に直接出向き、意見交換を実施しながら各企業のニーズの把握に努めるほか、市民に対し市内企業の魅力や情報を発信することで、地元企業への就職の動機づけを行うとともに、現在、奨学金制度利用者の返済を支援できるようなシステムの構築を検討いたしております。

要望 高萩市役所内に、進学等で県外等へ出ている人が就職したい



常陸の小京都たつごの里コース

ときに相談できる窓口(サポートセンター)を設置して頂きたい。

健康保持増進対策について

質問 市民が安心してウォーキングできるヘルスロードの現状、看板の設置等について伺います。

健康福祉部長 7コースが指定され看板等は1コースに設置されます。道路状況は一部のコースで補修が必要となっておりますが、案内板表示、コース補修が必要な箇所は関係機関と連携し、適宜整備して安全を確保してまいります。



大森要一 議員

コミュニティFM・緊急放送について

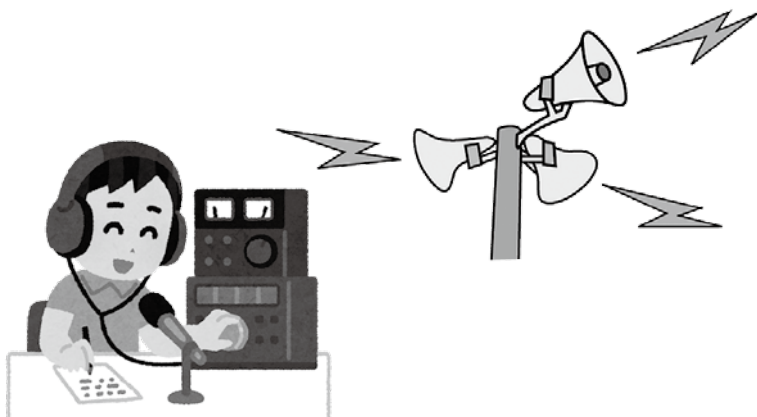
質問 11月22日、マグニチュード7.4の地震があり、緊急情報を伝える防災無線が機能せずコミュニティFMだけが6時1分から放送を開始し、津波注意報が解除されるまで、市民に注意を呼び掛けていました。防災無線が作動しなかった原因をお聞きしたい。

市民生活部長 震度5弱以上の地震や津波注意報の情報をJアラートが受信した場合、防災行政無線は自動起動することになっております。今回の場合、防災行政無線の自動起動装置が故障したことからより放送が行われなかったものであります。

質問 一台設置費用込みで8から9万円かかる防災行政無線であるが、有事の際に機能しないことは重大な問題である。緊急時に一番大事なものは人間で、機械任せでは今回みたいな事件が発生する。防災行政無線より8割から9割安価なうえに持ち運びができ、随時FMと連動し災害時に自動で電源が入るシステムである緊急告知ラジオの導入を市ではどのように

考えるか。

市民生活部長 緊急告知FMラジオを起動させるには、自動起動装置が正常に作動しなければならず、今回の場合、防災行政無線と同じく作動しなかったものと思われま。防災情報伝達手段としては、防災行政無線、緊急速報メール、SNS、たかはぎFMのほか、消防本部や消防分団の巡回広報など、多様な情報伝達手段を確保しております。





我妻康伸 議員

集会施設について

質問 集会施設のバリアフリーの推進計画を立て、順次整備していくことが必要であると考えています。市長は集会施設の今後について、どの様に考えているのかお知らせください。

市長 集会施設は、市民の皆様にも近い公共施設であり、地域コミュニティ活動にも利用いただいている施設であります。その利用者の多くが高齢の方であることから、施設のバリアフリー化は大変重要であると認識をいたしております。今後は地域の皆様が安全、活発に地域での活動に参加いただけますように、設置要望のある施設、利用者の多い施設、投票所として使われている施設等を優先的にバランスよくスロープや手すり等を設置し、バリアフリー化を進めてまいりたいと考えております。

いじめについて

質問 いじめの解消に当たっては、子どもたちを普段からきめ細かく見て、小さなサインを感じる必要があると見えます。教職員はもちろんサポートしてくれる外部人材を確保して、小中学校の事業に参加してもらってはどうか。

保して、小中学校の事業に参加してもらってはどうか。

教育部長 いじめの早期発見のためには、多くの教職員の目で見守ることが大切であることから、今後とも学校や子どもについて知識と理解のある退職教職員をボランティアとして活用するなど、子どもたちの学習の充実といじめ根絶に向けて学校と教育委員会が連携して取り組んでまいります。



秋山下生活改善センター



平 正三 議員

高萩市公共施設管理計画について

質問 高萩市公共施設管理計画策定委員会から文化会館・中央公民館を解体し、総合福祉センターに統合するなどの公共施設再編計画の報告書が出されているが、市長は今後どのように進めようとしているのか。

市長 公共施設管理計画の作成にあたり、大学の教授が主導的に関与を進めてきたと聞いており、高萩市の地域性あるいは事情を十分に反映したものではないと思っっている。高萩市民の意向が反映されていないこの計画書は、私は机上のものであるととらえている。本計画をそのまますべて実行していくことは不可能であると考えている。

太陽光発電設備導入について

質問 山間部に広大な太陽光発電施設が設置される可能性があり、どのような業者が開発に携わっているのか。また市民の暮らしと自然環境を守るために、どのような対策を考えているのか。

市民生活部長 業者等の詳細について公表されていない。今議会に高萩市安全・安心な飲料水の保全条例を上程させており当該条例に基づき対応していきたい。

緊急告知FMラジオ問題について

質問 11月22日に発生した震度5弱に対して、防災行政無線が故障して機能しなかった。戸別受信機と同様の機能を持つ緊急告知FMラジオを全世帯に設置すべきである。

市長 現在あるすべての情報伝達手段を様々な組み合わせながら、市民の方々に安全にいち早く逃げたいく施策を展開していきたい。

その他の質問

○防犯灯の維持管理について



高萩市文化会館



今川敏宏 議員

健康づくりについて

質問 健康づくりがどれほど大事なものが訴えても、それを実践するかしないかは個人の意識にかかっています。どうすればやる気を起こさせるか。そのためにまず1点目は、健康マイレージ事業を事業化してはどうでしょうか。健康マイレージ事業というのは、健康にいいことをするとポイントになり、そのポイントをためて特典や商品などに交換できたり、懸賞に応募できたり、健康づくりを実践しながら、いわばその見返りに御褒美がもらえるみたいな感覚で楽しくやるうという事業であります。現在では、全国多くの自治体で取り組みが始まっており、参考にしながら高萩の特性を活かした事業化の見解を伺います。

事業の検討をしてみたいです。

質問 2点目は、以前質問しました子供のうちから健康意識を育むための「がん教育」ですが、市の取り組みを伺います。

教育部長 各小・中学校で最低1回ずつ学習しています。今後はさらに命の大切さを学ぶ学習や、保健体育、特別活動、道徳の時間へのがん教育の位置付けも検討し進んでまいります。



水戸市健康マイレージ

その他の質問

- 東北芸術祭の評価について
- 新庁舎について
- 花賀溪谷紅葉まつりについて



大足光司 議員

安心・安全なまちづくり

質問 11月22日の早朝に発生した震度5弱の地震。その時、市の防災行政無線が故障により発令されなかったが、機器の検証は。

副市長 防災行政無線の自動起動装置が故障した原因については、保守事業者が原因究明のため24時間、防災行政無線の場所を分析しています。内容については、自動起動装置の部品を分けて故障の再現を行なう必要があり時間が掛かってますが、自動起動装置の音声出力を制御する部分の不具合があるらしい事が判明しました。今後さらに検証を進め、最終的な原因報告をしていただきます。

質問 災害時の情報収集と、市民へ広く行き届く情報発信について。

市民生活部長 本市は防災行政無線、緊急速報メール、SNS、FM放送の他、消防本部や消防分団の巡回と広報、市内の被害情報の収集については警察と連携し、情報共有を図っています。津波発生状況等は津波監視カメラ、自主防災組織からは避難状況等、情報収集を実施しました。速やかに防災情報が市民に伝達できるよう対

応し、これまでの取り組みに加えて、防災行政無線が機械である以上、不具合が生じる事もあることを前提に、防災行政無線の定期的な点検や動作確認を実施し、合わせて緊急放送を手動で行うためのマニュアルを作成する等、幾重にも対策を講じて参ります。

要望 災害に強い対応を整え、自助・共助・公助をつくり上げて頂きたい。緊急告知FMラジオの設置も考えて頂きたい。





菊地正芳 議員

防災行政について

質問 11月22日に発生した福島県沖地震ではJアラートが作動しなかったが今後の対応について伺う。

副市長 保守事業者に原因究明を急ぎ報告するように要請いたします。

市民生活部長 これまでの手動放送マニュアルの見直しに加え幾重にも対策を講じて参ります。

質問 子供から大人まで津波の恐ろしさを知る事が出来るイラストを活用してはどうか伺う。

市民生活部長 イラストの活用について協議して参ります。

質問 一人一人が防災に対する備え、意識を1歩も2歩も踏み込んで高めなければ災害による被害は避ける事は出来ない。家族防災会議の制定について伺う。

市民生活部長 9月1日の防災の日や11月5日の津波防災の日をきっかけにして、家族で話し合いが出来る様に働きかけて参ります。

質問 防災アプリの活用と自治体登録について伺う。

市民生活部長 登録自治体の活動状況等を踏まえ検討して参ります。



保健医療行政について

質問 B型肝炎ワクチンの定期接種の償還払いについて伺う。

健康福祉部長 定期接種化に伴う償還対応は今後検討いたします。

自転車による交通安全の意識向上について

質問 TSMマーク取得費助成と自転車通学許可申請書に保険加入の条件を検討するべきと思つが伺う。

総務部長 助成制度を設ける事は難しいと考えます。

教育部長 保険加入を義務づける事は難しいと考えます。TSMマークについては調査・研究します。

第4回定例会



吉川道隆 議員

公共交通計画について

質問 東京ディズニーランドへ行く直通バス、北茨城市、日立市は停車して乗れるが、高萩市はとまらない。電鉄バスには補助金を払っているが、高萩の子供たちのために要請はできないのか。

市長 東京ディズニーリゾート線については、日立電鉄交通サービス等の事業者に働きかけていきたい。

質問 最近、高齢者の運転の事故が問題になっている。買い物や通院で不便になるために、免許返納はなかなか進まない。茨城県内でもかなり市町村で高齢者運転免許返納支援が行われている。免許を返納した方に高齢者のタクシー券や市内路線バス乗回数券1万円分を配付している。近隣で全く何も対策していないのは、高萩市だけ。何か対策をすべきではないか。

市長 高萩市としても対策を講ずる必要があると考えていた。運転免許証の自主返納時に、何らかの移動交通手段に関する助成を前向



きに検討をしていきたい。

防災について

質問 防災無線の戸別受信機は、高額のために全戸には配付できない。エリアメール、SNSはあるが戸別受信機を設置されていない世帯で携帯を持っていない人には情報が入らない。戸別受信機は耐用年数が10年。10年後、50万円以上の支出が見込まれる。更新の時は戸別受信機ではなく安価な緊急告知FMラジオに交換し、全戸配布するべきと思うがどうか。

市民生活部長 FMラジオ等については利用可能かどうか研究して確認してみないと、今すぐ報告できる状況にはない。



緊急告知FMラジオ

その他の質問

○混合介護の導入について

委員会視察報告

◇議会広報委員会◇

10月25日～10月27日

○石川県白山市

○滋賀県蒲生郡竜王町

白山市は「開かれた議会」を目標とする議会改革の一環として、平成27年5月発行分より紙面のリニューアルを行った。従来の堅い・難しい・興味が無い、と言った議会だよりのイメージを払拭すべく、議会そのものに関心が薄い、若い世代をターゲットに紙面づくりを行った。議会を知る入口として、掲載内容をコンパクトにまとめ視覚に訴え、また表紙を写真からイラストへ多様化し、余白を使ったレイアウト等、興味を持って、手に取ってもらえるよう工夫をしている。

竜王町は委員が変わっても広報誌の編集・発行がスムーズに行われるよう、紙面づくりのルールが明確化され、「専門的な用語・お役所言葉」は言い換えて、読みやすく、議会議員よりも町民住民がクローズアップされる内容となり余白を意識した紙面となり、従来のものより軽やかな印象の議会だよりとなっている。



竜王町議会議員との意見交換

◇議会運営委員会◇

11月8日～11月10日

○長野県上水内郡飯綱町

○新潟県柏崎市

飯綱町は町民の知恵も借りて政策提言できる議会を目指して「政策サポーター制度」を導入し町民の議会参加を広げている。また「議会の見える化」等の改革を積極的に行っている。

政策サポーターは公募により、参加人数が延べ43名となり、これまでに6テーマでの政策提言を行ってきた。これによって、時間外保育料の一部無料化、地域振興係の新設、集落振興事業と予算の増額を実現できた。

「議会の見える化」については、毎年4月に「議会基本条例」に基づ



飯綱町議場にて意見交換

いて年間計画「議会白書」を作成し、町民に検証してもらいながら確実に実行している。
柏崎市は議会改革に関する特別委員会を設置した事で、議会基本条例や通年会期制議会などの改革が進んだ。
議会報告会は試行錯誤の上「市民懇談会」として開催している。通年会期制にした事で常に議会が活動できる状態となるため、議会の更なる活性化が期待できる。
専決処分については議会独自で、必要項目を条例で定めている点では、執行部がスムーズに業務が出来る配慮がされていた。

議会日誌

11月

14日 議会全員協議会

文教厚生委員会

15～16日 県市議会議長会

第1回議員研修会

17～18日 県北市議会議長会

研修視察

22日 議会運営委員会

文教厚生委員会

24日 議会全員協議会

25日 総務産業委員会

29日 日立・高萩広域下水道

組合議会定例会

12月

2～14日 第4回定例会

5日 議会広報委員会

14日 議会広報委員会

21日 常磐三市議会議長会

13日 議会広報委員会

17日 県市議会議長会

13日 議会広報委員会

19～20日 県市議会議長会

定例会

21日 萩っ子(子ども)議会

24日 議会全員協議会

26日 議会広報委員会

高萩市・北茨城市両市

議会議員研修会

上手綱 石井 一郎さん

私が高萩市に来たのは、昭和34年の春で今の天皇陛下と皇后陛下が御成婚された年でした。高萩は海や山、商店もたくさんあり、道路も広く私にとって夢のような街でした。馬市が行われ炭鉱の町として栄えてきた高萩はまだまだ景気が良く、街も人も活気に満ち溢れていました。

あれから半世紀が流れました。現在の高萩市は、少子化の影響もあり、人口減少に歯止めがかかっていません。人口減少を抑制するためには、子供たちに将来も高萩市に住んで貰うための教育が必要だと考えています。私は孫たちに「先祖様へ感謝する気持ち」と「挨拶の仕方」について伝えようとしています。

「先祖様に手を合わせるときは、いつも健康と無事を守っていてくれて有難うございます」と「挨拶は人に声を掛けられてからするのではなく、自分から先に声を出して頭を下げるのが

挨拶、その一言で次の言葉が出やすくなるんだよ」と教えています。このような文化等を後世に残していくのも我々世代の責務だと考えています。

「子育てをするなら高萩市で！」と言われるような、地域ぐるみで子育てする環境を更に整備して貰いたい。人口減少が抑制され、高萩市の伝統文化がしっかりと伝承されていくような市政を望みます。そのための市議会活動に期待しています。



傍聴においでください

第1回定例会(3月)予定

3月3日(金)	本会議	議案上程
6日(月)	本会議	一般質問
7日(火)	本会議	一般質問
9日(木)	本会議	議案質疑
13日(月)	文教厚生委員会	
14日(火)	総務産業委員会	
15日(水)	予算特別委員会	
16日(木)	予算特別委員会	
17日(金)	予算特別委員会	
22日(水)	本会議	採決

※日程等は変更になることがあります。

インターネット・FMでの放送予定



	インターネット	FM
本会議	○	○
総務産業委員会 文教厚生委員会 予算特別委員会	○	○

市のホームページの「高萩市議会」からお入りください。

委員会のインターネット放送は、無料で利用できる動画配信サイトのユーストリームを利用して、使用環境によっては、見られない場合があります。

12月定例議会が無事終了し、新たな歳を迎えようとしていたところ、12月28日に震度6弱の大地震が発生しました。幸い津波もなく甚大な被害は発生しませんでした。一部被災された地域の皆さまには心からお見舞い申し上げます。これからも議会として、市民の皆さまが安全で安心して暮らせる防災体制を執行部とともに構築してまいります。

議会だよりは、これからも読んで頂く市民の皆さまの視点に立った紙面づくりに努め、議会活動をお伝えしてまいります。
(坪和 久男記)

議会広報委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 飯田 毅 |
| 副委員長 | 我妻 康伸 |
| 委員 | 今川 敏宏 |
| | 八木 陽子 |
| | 渡辺 悦夫 |
| | 坪和 久茂 |
| | 根本 茂 |